

大泉町教育委員会会議録

1 日 時 平成30年1月25日（木）午後2時00分から午後4時13分まで

2 出席者

國井教育長、高倉委員、福田委員、秩父委員、大塚委員

3 出席職員

松島教育部長、持田庶務課長、中本学校教育課長、大澤生涯学習課長、
関本スポーツ文化振興課長、宮永子育て支援課長、根岸書記

4 傍聴人

1名

5 議事、協議及び報告事項

- ・議案第1号 大泉町立小学校及び中学校管理規則の一部改正について
- ・議案第2号 平成29年度末県費負担教職員人事に関する基本方針について
- ・12月定例議会について
- ・西小学校舎・（仮称）西児童館学童保育室複合施設増築工事の概要について
- ・北小学校北棟（低学年棟）屋上防水工事について
- ・大泉町発足60周年記念大泉町ウォーキングマップについて
- ・平成30年度教育行政方針について
- ・第29回大泉町児童・生徒作品展について
- ・大泉町発足60周年記念平成30年成人式の結果について

6 議事内容

國井教育長

ただいまから教育委員会議を開会いたします。

それでは、日程第1 前回会議録の承認について

事前に配布させていただいた会議録について何かご意見等ありましたらお願いします。

（意見なしの声）

ないようでしたら、今回は秩父委員さんと大塚委員さんに会議終了後、署名をお願いいたします。

続いて、日程第2

議案第1号 大泉町立小学校及び中学校管理規則の一部改正についてを議案といたします。事務局より説明をお願いします。

中本学校教育課長 （詳細説明）

國井教育長

それでは、説明が終わりました。ご意見等ございましたらお願いいたします。

福田委員

学校に教務主任 が、学校に、教務主任 と変わっているがこれを訂正

中本学校教育課長 役場の管理規則の書き方に基づいて見直しをさせていただきました。
 福田委員 役場の方が昔の文書体のような気がしました。役場が上位で仕方が
 ないかも知れませんが、私は合点がいかない。
 國井教育長 他にございませんか。ないようでしたら議案第1号に承認いただける
 方は挙手をお願いいたします。
 （挙手多数）
 挙手多数ですので議案第1号は承認といたします。
 続きまして、
 議案第2号 平成29年度末県費負担教職員人事に関する基本方針に
 ついて を議題といたします。事務局より説明をお願いします。
 中本学校教育課長 （詳細説明）
 國井教育長 それでは、説明が終わりました。ご意見等ございましたらお願いいた
 します。
 秩父委員 いまの教職員の方々は、年代別によって採用枠にかなり開きがあると思
 うが、今後ベテランの先生方が退職された後、教職員の数について
 どのような傾向になるのか。
 中本学校教育課長 年代によってかなり差があって、いまの50代の先生はかなりいらっ
 しゃるのですが、40代の先生は採用をしぼっていたため先生が少ない
 ようなところがあります。新採用は同じような人数できているが、
 再任用の制度が始まりまして、新採用は減る傾向です。本町は問題と
 なっておりませんが、他の市町村は生徒数の減少により、先生の数は
 減る傾向にあります。
 國井教育長 極力町内の中でも変化がおきないように調整しながら人事を心がけてお
 ります。他にいかがでしょうか。よろしいでしょうか。ないようでし
 たら議案第2号に承認いただける方は挙手をお願いいたします。
 （挙手全員）
 挙手全員ですので議案第2号は承認といたします。
 それでは、日程第3 教育長報告に入ります。
 12月定例議会について 12月12日から14日まで3日間開催さ
 れ、報告3件、承認1件で全議員承認、議案12件で全議員賛成、一
 般質問が6名の議員よりございました。
 内容について部長より説明させますのでお願いします。
 松島部長 （詳細説明）
 國井教育長 ご質問、ご意見がありましたらお願いします。
 学校教育に関する質問を多くございまして答えさせていただきました。
 詳細については、議会の議事録をご覧くださいと思います。
 続いて、西小学校舎・（仮称）西児童館学童保育室複合施設増築工事
 の概要について 持田庶務課長より説明をお願いします。
 持田庶務課長 （詳細説明）

國井教育長	ご質問、ご意見がありましたらお願いします。
福田委員	1年生が今度入ってくるのがオーバーするから建設するのですか。
持田庶務課長	既存の学級で教室が足りないので建設を行います。来年は、特別教室を普通教室にかえて対応しており、もうこれ以上教室がないため5クラスを建設する訳でございます。
福田委員	5クラスを建設する訳ですが、学年のクラスの並びは変わらないのですか。
持田庶務課長	(現在の教室配置を説明)
福田委員	学年で1クラスだけボツンと離れてしまうのはよくないので、学年でまとまっていた方がいいのではないかと言いたかったのです。
國井教育長	学校も工夫しながら、極力離れないように配置しています。いま、おっしゃっていただいたことを第1に考えて行っていきます。
	続いて、北小学校北棟(低学年棟)屋上防水工事について 持田庶務課長より説明をお願いします。
持田庶務課長	(詳細説明)
國井教育長	ご質問、ご意見がありましたらお願いします。
	(なし)
	続いて、大泉町発足60周年記念大泉町ウォーキングマップについて 関本スポーツ文化振興課長より説明をお願いします。
関本スポーツ文化振興課長	(詳細説明)
國井教育長	ご質問、ご意見がありましたらお願いします。
高倉委員	きれいな写真で、これを見ていると大泉はいいところだなと。なかなか面白いのができて大変ご苦労様でした。
國井教育長	続きまして、平成30年度教育行政方針について ということでありますが、これにつきましては冊子をご覧いただきながら各課長より説明をいたします。
持田庶務課長	平成30年度教育行政方針について説明いたします。方針につきましては、次回の教育委員会に議案として提出いたしますが、今回は事前の説明という位置づけで、主なところや変更点を所管する担当課長から説明いたします。
	(持田庶務課長、中本学校教育課長、宮永子育て支援課長、大澤生涯学習課長、関本スポーツ文化振興課長の順で説明)
國井教育長	ただいまご説明させていただきましたが、行政方針についてご質問、ご意見等がありましたらお願いします。
福田委員	毎年、毎年言っているのですが、これは具体的施策ではない。業務の棚卸しで職務分掌である。そうでなくて、昨年やったものに対しての反省、あるいはさらに良くするためにどうするかが今年の重点施策ではないですか。それが見られない。いつも同じだもの。ちょっと変えただけ。こんな長い文章を2日3日前に渡されて、読んだってなん

も面白くない。面白くないと言っては語弊があるのですが、やってきた仕事を書くのであれば別の冊子に書けばよいのではないかな。そうではなくて、今年の重点は学校教育課は何が違うのですが、子育ては何が違うのですが、この文章からは全く読めない。町長部局からから教育部に來た、町長の意向を反映するにはどうしたらいいのだろう。去年と同じ事だけではダメなんですよ。去年と同じ事は別の冊子にすればいいですよ。全くもって旧態依然のまま。具体的に言っていきますね。まず学校教育に関しては、毎回毎回言っているのですが、学校のカリキュラムがいいかげんなの。学校によって全然進み方が違う。教育委員会で今度の期末テストはこの範囲までにしますよと目安をつくったらどうですかと言ったんです。前は入っていたのですが、今回ははっきり切り捨てられている。それと、部活動のあり方。県だってあれだけ議論しているわけです。教育委員会でも重点施策ではないのですか。町でも指針をつくりましょう。そういうのが重点施策ではないのですか。それと、食に関する指導を載せたのはいいのですが、郡内と太田市を含めて給食が一番まずいと言われているんです。それに対してどういう方策を打っていくのか。そういう具体的な方策が見えない。どういう方策を打つべきなのか、それが重点施策がないのか。それが今年の仕事。それと教育研究所。1人が復帰できた、企業で言えば1人しか復帰できないのか。教育研究所がどういう改革をしていくのか、そういう貴重な意見を言ってくれる方が教育委員にいるのだからその意見を反映させなければならない。教育環境、デスクトップパソコンの時代は終わったんですよ。これからはタブレット教育、あるいはモバイル教育、そういう教育に重点を移していかなければならない。やるのだったらお金をかけてタブレットを全員に配るとか最新事例をどんどん取り入れていかないと大泉町は取り残されていってしまうのではいか。それと、子育て支援としては、今年は何を重点にするのか全くこれでは見えません。学童保育室の建設、そんなもん分かってるんですよ。ここに書くのはいいのだけど、もっともっと重要なことがあるでしょうよ。今度教育部に來たのだから、どのようなに子育てを支援していくのか、ソフト面をもうちょっと議論していきたい。生涯学習だけれども、いろいろな内容があるのだけれども、昨年の反省点が見えない。反省点を改善していくのが重点施策じゃないのかなと思いますね。図書館の利用だって、どうしたらよいか。昨年、小学校・中学校と連携するとよいでしょうと言ったが、今年も同じことを書いている。小学校と中学校と連携した結果、こういう点がまずかった、あるいはこういう点が良かった、それを推進していくこと、それが重点施策ではないですかね。スポーツについて、昨年ウォーキングマップを作成する、それは非常にいいこと思うのですが、ただ私が残念に思うのが私が前に話をした町民皆スポーツについて、来年につな

がるスポーツ、レスリングについて調べてもらってありがたかったんだけど、そういうものでなくてもうちちょっと一般的なスポーツを調査研究を引き続きやっていていただきたいと思います。ダメだからやめるのではなくて、ダメだったら次の手を考えようということがいいかなと私は思います。厳しいことを言いましたけれども、何を1番重点でやっていくのかがよく見えない。課題を学校教育ではこうやっていくんだ、生涯学習では何をやっていくのか、目玉がない。従来どおりやっていくのは、最後にまとめておけばよいと思うのですね。去年と同じことをやっている内容を重点施策にもってくるのはおかしい。その内容がないと困るのをあるのだろうけど、どれが大切なのか、どれが大切じゃないのか分からないですよ。本当に各課で一番力を入れているのは何なんですか。それを3つか4つぐらい書けばいいんじゃないですか。そして施策、どうやってやるのですか、それをもうちょっと具体的に書けばそれが今年度の具体的施策になるのではないですか。

國井教育長

福田委員さんの貴重な意見ですが、これを見ただけでは、何をやっていくか分からないとのことですが、一方で教育行政方針は、国・県から方針として降りてきている内容もあります。学教教育でいえば、先ほど例として出された教育課程の編成ですが、指導するのは教育委員会で、かなりきめ細やか編成をあげてきてもらって、それを校長会等で確認をして指導主事等が訪問をして指導するという流れですが、教育委員会で一律に進み具合を指定するのではなく編成権は学校長にありますので、学校とのやりとりをしているということがメインとなってしまうので書き方としてはこうなっているという感想です。あと、例えばコンピュータ教育も字面を見れば、10年前15年前と文言は同じであるが、状況がずいぶん変わっているので、それを見ながらきめ細かく学校と打ち合わせていくことが先ほどの説明の意味だと思うのですね。先進的に取り組んでダメだった事例もあるのですね。ご指摘いただきました部分につきましてもより具体的にどこまでここで書いていくのか、もう一度福田委員さんのおっしゃっていただいたことを課を超えて、相談・検討させていただいていただきたい。

松島部長

建設的なご指摘ありがとうございます。本日ににつきましては案をお示しさせていただいたということでございますので、ご意見を持ちかえさせていただいて検討させていただきたいと存じます。

中本学校教育課長

誤解のないように説明させていただきたいと思ひまして、給食につきまして、邑楽・太田の中で一番まずいとのことご指摘いただきましたが、太田は自校方式、邑楽町は共同給食センター、大泉町は委託でやっております。その中で委託ということでメニューを作っているのですが、保護者にアンケートをとったり、子どもにメニューの様子を聞いたり、毎食残食調査を行っており食缶に残っているかを把握しております。

て、多く残ったものについては、味付けが問題なのか、ゆで方に問題があるのか、何か問題があったのか、やはり改善につなげなくてはならないので、そういう努力をしながら、学校の先生にも献立会議を1ヶ月に1回開きまして、どうだったか話を聞きながら改善に努めていることをご理解いただければと思います。大泉町から出て行った教員の中には、大泉町の給食の方がおいしかったと言ってくれる先生もおりますので、味覚に関してはいろいろな感じ方があるのかなと思いますが、改善を頑張っているということで理解していただければと思っています。

福田委員 私が言いたいのは、やはり行政方針というのは重点、重要なこと、1番時間を割くと考えられることが1番重要なんです。1番上に書くべきだ。各課で1番重要な案件、4個や5個書けばいいじゃないですか。それを我々は聞きたいんですよ。どういう分析をして、来年はどうやってやるのか。それが施策なんです。重点目標を最初を書くべきかな。重点というのが重要だと思うのですね。

国井教育長 いまのご指摘に関しても検討させていただきたいと思います。他にいかがでしょうか。

高倉委員 英語の授業が35時間から50時間に増えるということですが、かなり増えるのですが、何の授業が減るのでしょうか。

中本学校教育課長 総合的な学習の時間を減らして、英語の授業を増やすということで、どこの市町村も同じでございます。

高倉委員 総合的な学習とはどのような学習ですか。

中本学校教育課長 各学校ごとにテーマを決めて、例えば環境についてとか、それを最後までまとめて分かりやすく誰かに伝えるという学習をしています。そういった調べ学習の時間から英語にあてるという国の指示であります。

高倉委員 総合的な学習も大事なことかなと思うのですが、授業時間を増やすわけにはいかないですし、なかなか難しいですね。いままで小学校にあった授業を減らすわけですから。

福田委員 35時間から50時間に大泉町は増やすのですが、他の市町村はどうなのですか。

中本学校教育課長 50時間が基本で他の市町村も50時間にしていくことになると思います。

福田委員 大泉町が特別多いというわけではないのですね。

中本学校教育課長 そうですね。ただ大泉町の場合は、1年生から4年生まで35時間やっているところが他と違うところであります。

国井教育長 よろしいでしょうか。他にございますか。

大塚委員 子育て支援の充実ということで、大泉町は入っていないのですが、館林の小児科で病児・病後児保育を広域で行っているということですが、利用率が分かれば教えて欲しい。

宮永子育て支援課長	本町では、ファミリーサポートセンターにて病児・病後児の受け入れを行っておりまして、また館林は遠いということで広域には参加しておりません。利用率につきましては本日は資料を持っておりません。
大塚委員	利用率が低いとお聞きしたのですが。1時間に1,300円だと結構な金額になり、1人親家庭だと補助があるのですが、一般家庭だと補助がない状況です。
宮永子育て支援課長	保育園の園児に限りますが、体調不良児の場合エンゼル保育園が実施しています。また、平成30年度には、みよし幼稚園、みよし第2幼稚園で看護師を配置して実施する予定です。
大塚委員	いまの時期だとかぜやインフルエンザなどで利用しなければならない人もいると思うので、町の補助を手厚くしていくとありがたいと思います。
国井教育長	ご意見ということでよろしいでしょうか。
大塚委員	あと、特別支援教育の充実のところについて、全教職員が特別支援教育に対する理解を深めるため研修を継続的に実施するとありますが、私が気になっているのが、発達障害についてです。特別支援教室だけでなく通常学級の中でも発達障害のお子さんが存在していると聞いている。特別支援学級の子だけでなく、発達障害についてどういうことなのか、教職員だけでなく、保護者のみなさんも理解することが大切だと思っています。
中本学校教育課長	昔は、心身に障害を持ったお子さんが特殊学級にいたのですが、今はもっと広い括りで、教育上特別な支援が必要なお子さんを特別支援教育としてサポートしているのですが、その中の1つが発達障害に対する対応であります。文部科学省の統計によりますと通常の学級の中にも程度の違いはありますが6.5%のお子さんが発達障害をかかえていると言われております。教職員だけでなく保護者の方にも理解していただくことは大切だと思います。
大塚委員	程度の問題もあるのですが、それが理由で友達とうまくいかない場合があります、保護者の方も理解していないと感じるときがあります。みんなが発達障害を理解できるとうまくやっていけるのかなと考えています。
国井教育長	発達障害については幅広く支援をしていきたいと考えています。その他ございますか。
秩父委員	最近、民間で放課後児童施設など、いろいろな子どもたちの支援、主にNPO法人などが行っているのが多いのですが、今回機構改革で子ども課ができる中で、時期を見て町内の子どもたちがそういった施設に通っているのか把握するため調査研究する必要があると思います。私どもの会社で県の指導を受けてながらそのような施設の建設を行っております。役場でも把握されていない施設もあ

国井教育長 と思います。紹介する立場にもなれるのでご承知いただければと思います。

大塚委員 貴重なご意見ありがとうございます。そういった情報を共有させていただければと思います。

持田庶務課長 電子黒板の普及率について群馬県が全国で最下位だと出ていたのですが、必要があるならば少しでも取り入れる方向でいてもらえるとありがたいと思います。

国井教育長 教室においてある電子黒板はございません。中学校のパソコン教室の更新の際に10年ほどホワイトボードのような電子黒板があったのですが、実際に使われていないのが現状です。昨年度中学校のパソコン教室のリプレイスの際に電子黒板は導入せず、タブレットPCを教師用に5台ずつ導入して、各教室のテレビをモニターとして使用するようにしました。

国井教育長 10年ほど前に中学校に導入されたとき、すごいのが入ったなということで情報主任を中心に研修会などを行って、1年2年ぐらいたつとある決まった方がかなり習熟しまして専門的に使うようになったのですが、それでもやはり黒板の方が使いやすいということで戻っていきました。ここ2・3年はタブレットも使いやすくなってきていますので、いろいろな情報を入れながらやっていきたいと思っています。教育行政方針につきましては、いただきましたご意見を基に検討させていただきます。それでは、ここで休憩を入れさせていただきます。

国井教育長 (休憩)

国井教育長 それでは休憩を解いて再開いたします。

中本学校教育課長 第29回大泉町児童・生徒作品展について 学校教育課長より説明をお願いします。

国井教育長 (詳細説明)

福田委員 作品展について何かご質問はございますか。

国井教育長 先ほど行ってきたけれども、いろいろな作品がありましたが、その中で芸術面の作品ということで、書道関係は日本らしさがあっていかなと思うのです。大泉は書道が盛んであり、私の知り合いでも書道教室を主催している方がおります。そういう方が小学校や中学校でボランティアでお手伝いしたいという方がおりますので、そういうボランティアが必要であるのなら紹介させていただきたいと思っております。

国井教育長 実際にボランティアをお願いしている学校もございまして、必要があればということですね。

中本学校教育課長 体育館で行います書き初め大会などがございますので、そういう時期に来ていただくとか。学校と相談していきたいと思っております。

国井教育長 よろしいでしょうか。それでは、続きまして 大泉町発足60周年

大澤生涯学習課長
國井教育長

記念平成30年成人式の結果について お願いします。

(詳細説明)

いまの件についてご意見お願いします。よろしいでしょうか。大変お世話になりました。

それでは、他に何かございますか。

中本学校教育課長

前回の会議で福田委員さんよりがありました部活の件につきまして、説明させていただきます。昨年の11月25日の部活動休止期間に大会が行われました。中体連の公式の大会ではありませんが、伝統的な大きな大会であります。3中学校の1・2年生ですが、顧問の方からこういう大会があるということで自主参加として参加を決めました。3校とも取り決めに従い、保護者・生徒に自主参加であることを伝え、参加の確認を行いました。参加者は67人中32人であり、参加率は47%でした。校長としても、子ども頑張り、成果、また高校入試でも部活動を中心とする選抜等もごさいます。子どもや保護者の意向を尊重し、参加を許可しています。学校としても、大会前に休んだり、補習を行った学校もごさいます。過日もスポーツ庁の部活動に対する考えが、報道されていました。県としては、1月の終わりには、部活動の方針が決定されていく予定になっております。町として、校長、PTAの役員からなる委員会を開催し、4月からの部活動について取り決めに作成していきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

福田委員

今の話を聞きますと考え方がおかしいですよ。期末テスト前4日間は部活禁止だよと言っているにもかかわらず、いい大会で校長が認めるから参加する、それはおかしいですよ。だったら部活禁止なんかしなければいいじゃないですか。校長の考え方がおかしい。そう思いませんか。校長こそが、こういう決まりがあつて、公式大会じゃないのだからやめておこうというのが校長の仕事ですよ。校長の仕事を放棄している。先ほど言った高校入試で部活動を中心とする選抜なんてやめた方がいいと思っている。そういうのに校長が惑わされて、規則を曲げるのだったらやめた方がいいと思います。

國井教育長

原則として部活・対外試合禁止というもので、原則としてというのがあつたと思うのですが、いずれにしても明確にしていかなければならないと思います。おそらく校長もいろいろな考えがあつてやっているとありますが、はっきりさせるということが校長にとっても楽になるのかなと思います。先ほどの部活のあり方の考えと併せて早急に検討しなければならないと思っております。

他によろしいでしょうか。ないようでしたら以上で教育委員会議を終了いたします。ありがとうございました。